

1. 学校法人の概要

1. 経営理念と経営目標

本学園は、学園を取り巻く厳しい環境の中で様々な課題に対して主体的、そして機動的に対応して行くため、平成10年度以降、マスタープラン（中期経営計画）を策定し、3カ年ごとに実施結果の総括と次期への見直しを継続し、諸施策を具現化し、さらに実質化してきました。このマスタープランでは、建学の綱領に基づき、経営理念及び経営目標を次のとおり定めています。

- ①経営理念 For all the students ～ すべての学生生徒のために
- ②経営目標 情報・環境・モノづくり領域で教育研究力を発揮し、広く社会に貢献する。

これらを、すべての教職員の教育、研究及び社会貢献等の諸活動における、一貫した「行動基準」として位置付けてきました。

現行計画である第5次マスタープラン策定においては、理事長から大学・短大学長、高校校長及び法人・大学事務局長へ『第4次計画の「教育改革力の発揮とその成果に基づく募集力の強化」を一段と発展・実質化させ、教育の質保証によって社会に有為な人材を育成し、地域社会へ貢献する』ことを主題として計画原案の諮問がなされました。

この諮問に従い、平成21年6月、マスタープラン・財政諮問委員会を発足、当経営計画の財政的裏付けとなる第3次財政計画の議論を併行し、理事長へ両計画原案を答申、第263回理事会（平成22年3月26日）において承認・決定されました。

この第5次マスタープランでは、経営戦略と経営管理のあり方等について、次のとおり基本的考え方を定めています。

2. 経営戦略（総合的目標）と行動計画

経営目標を具現化し、その目標を達成するための基本戦略を次の①～⑤のとおりする。

- ①学園の ima（今）：information & message from academia を伝える広報・募集活動によって、志願者の増加と入学者の安定的確保を図る。（募集力）
- ②丁寧な教育とその成果に対する質保証を徹底し、教育付加価値を向上させる。（教育力）
- ③情報・環境・モノづくりを中心とする領域で特色ある研究を展開し、学園のステイタスアップを図る。（研究力）
- ④キャリア教育と就職支援を充実し、学生生徒の満足度を向上させる。（就職力）
- ⑤財政基盤の安定化と組織の活性化によって、計画実現を図る。（経営力）

以上の基本戦略に基づき、各設置校、学部・学科、事務局等が自主・自律的に複数・単年度行動計画（アクションプログラム）を策定し、PDCA（plan - do - check - action）サイクルによる目標管理によって、計画実現性を高め、継続的な改善と成果の拡大に努める。

3. 経営と学校運営の体制

学校法人の理事会・評議員会に対しては、私立学校法はじめ私学関連諸法規によって、自主性が尊重されている一方で、経営の自己責任や主体的改善が強く求められています。

本学園では、この趣旨に沿って、理事会の権限の明確化及び機能の強化を図り、監査法人と監事の連携強化等によって、経営活動及び教育研究活動、並びに財産状況のチェック機能等の充実を図っています。当年度の理事会等の業務執行及び財務運営の監査においては、後述（32頁「Ⅲ. 財務の概要 1. 監査手続」）のとおり、私立学校法、私学振興助成法及び学校法人会計基準に則して適正に行われていることの確認がなされました。

なお、役員（理事、監事）には公的機関、地元財界等から学識経験者、企業経営者を、また、評議員には、卒業生及び学生のご父母を招請し、豊富な経験と高い見識によって、社会の要請に即ち迅速・的確に答えることを目指しています。

当年度の役員・教職員等の状況は、次のとおりです。

(1) 役員等の状況

(平成23年3月31日現在)

役員等区分	定数	実数	選任条項別実数*1
理事	9～13	9	1号2名、2号1名、3号6名
監事	2～3	3	
評議員	19～27	19	1号4名、2号3名、3号2名、4号10名

*1 1号理事：学長・校長、2号理事：評議員、3号理事：学識経験者

1号評議員：学長・校長・教職員、同2号：卒業生、同3号：父母、同4号：学識経験者

(2) 教職員の状況

(5月1日現在)

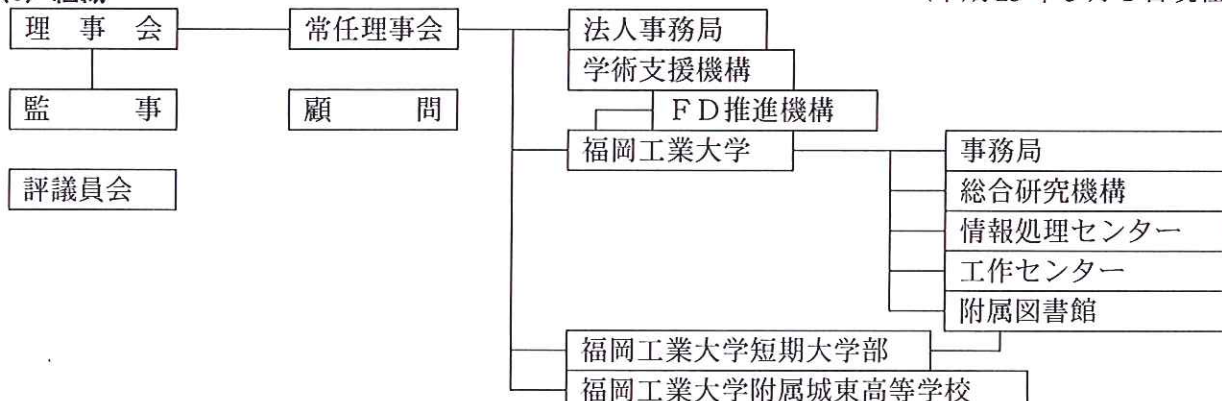
設置学部等	H22年度 教職員数				H23年度 教職員数			
	教育職員*2	前年比	事務職員	前年比	教育職員*2	前年比	事務職員	前年比
福岡工業大学*1	144(31.2)	2	96	2	148(29.9)	4	97	1
工学部	62(29.0)	3	—	—	62(27.8)	0	—	—
情報工学部	53(33.0)	▲1	—	—	56(31.1)	3	—	—
社会環境学部	29(26.7)	0	—	—	30(25.6)	1	—	—
福岡工業大学短期大学部	17(20.5)	1	6	0	17(22.6)	0	6	0
情報メディア学科	10(22.8)	0	—	—	10(25.3)	0	—	—
ビジネス情報学科	7(17.3)	1	—	—	7(18.7)	0	—	—
福岡工業大学附属城東高校	84(22.7)	5	6	0	86(22.1)	2	5	▲1
(合計)	245(27.6)	8	108	2	251(26.7)	6	108	0

*1 大学教育職員には特任教員を含む

*2 ()内は教育職員一人当たり学生数

(3) 組織

(平成23年5月1日現在)

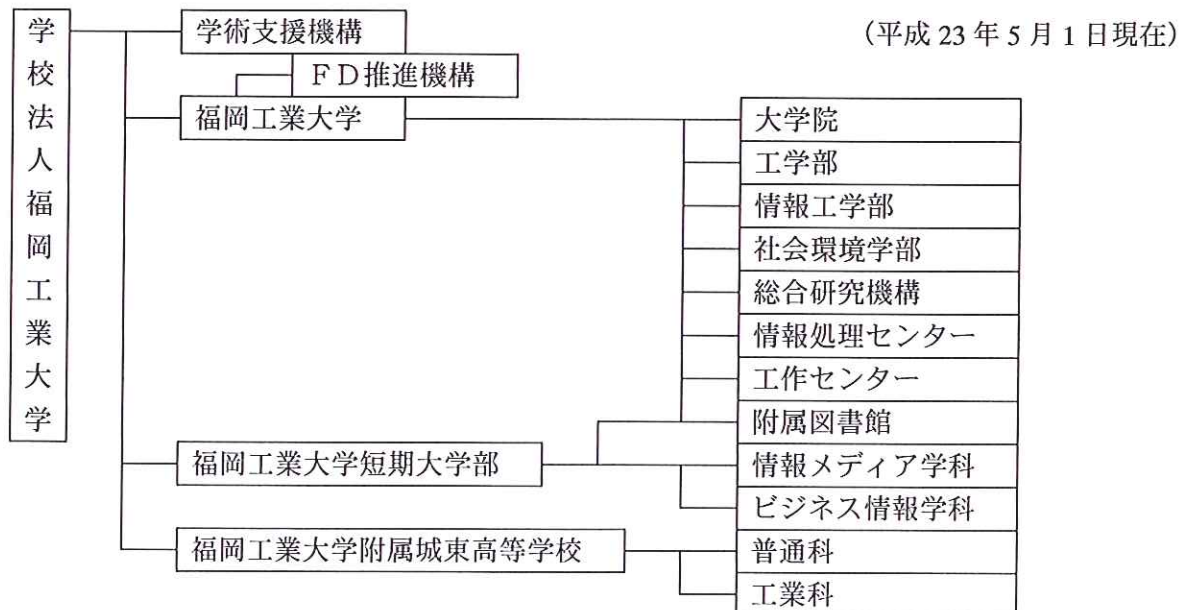


4. 設置学部等、学生・生徒数

学生・生徒数

(5月1日現在)

設置学部等	H22年度 学生・生徒数					H23年度 学生・生徒数			
	定員	現員	定員充足率	H21現員	前年比較	定員	現員	定員充足率	前年比較
福岡工業大学	3,520	4,494	1.28	4,347	147	3,520	4,426	1.26	▲ 68
工学部	1,360	1,795	1.32	1,773	22	1,360	1,721	1.27	▲ 74
電子情報工学科	320	396	1.24	403	▲ 7	320	386	1.21	▲ 10
生命環境科学科	320	408	1.28	378	30	320	419	1.31	11
知能機械工学科	400	543	1.36	553	▲ 10	400	500	1.25	▲ 43
電気工学科	320	448	1.40	439	9	320	416	1.30	▲ 32
情報工学部	1,360	1,749	1.29	1,674	75	1,360	1,740	1.28	▲ 9
情報工学科	480	656	1.37	642	14	480	637	1.33	▲ 19
情報通信工学科	320	372	1.16	354	18	320	379	1.18	7
情報システム工学科	320	402	1.26	363	39	320	402	1.26	0
システムマネジメント学科	240	319	1.33	315	4	240	322	1.34	3
社会環境学部・社会環境学科	660	774	1.17	753	21	660	768	1.16	▲ 6
工学研究科（修士）	116	155	1.34	120	35	116	174	1.50	19
工学研究科（博士）	12	9	0.75	12	▲ 3	12	14	1.17	5
社会環境学研究科（修士）	12	12	1.00	15	▲ 3	12	9	0.75	▲ 3
福岡工業大学短期大学部	320	349	1.09	300	49	320	384	1.20	35
情報メディア学科	210	228	1.09	181	47	210	253	1.20	25
ビジネス情報学科	110	121	1.10	119	2	110	131	1.19	10
福岡工業大学附属城東高校	1,650	1,907	1.16	1,788	119	1,650	1,905	1.15	▲ 2
(合計)	5,490	6,750	1.23	6,435	315	5,490	6,715	1.22	▲ 35



5. 学校法人の沿革

(1) 沿革

年 月	学校、学部等の開設、名称変更等
昭和 29 年 4 月	福岡高等無線電信学校創設
昭和 33 年 4 月	学校法人福岡電波学園福岡電波高等学校開設
昭和 35 年 4 月	福岡電子工業短期大学開設
昭和 38 年 4 月	福岡電波学園電子工業大学開学、同工学部開設
昭和 41 年 4 月	大学の名称を「福岡工業大学」に変更 短期大学の名称を「福岡工業短期大学」に変更
昭和 48 年 9 月	法人の名称を「学校法人福岡工業大学」に変更
昭和 49 年 8 月	高校の名称を「福岡工業大学附属高等学校」に変更
平成 5 年 4 月	大学院工学研究科（修士課程）開設
平成 9 年 4 月	大学に情報工学部を開設
平成 11 年 4 月	大学院工学研究科（博士後期課程）開設
平成 13 年 4 月	大学に社会環境学部を開設 高校の名称を「福岡工業大学附属城東高等学校」に変更
平成 14 年 4 月	短期大学の名称を「福岡工業大学短期大学部」に変更
平成 17 年 4 月	短期大学部電子情報システム学科を情報メディア学科に、OA 情報システム学科をビジネス情報学科に名称変更
平成 19 年 4 月	大学院社会環境学研究科（修士課程）開設
平成 21 年 4 月	大学院工学研究科（修士課程）「機能材料工学専攻」を「生命環境科学専攻」に改組

(2) 校舎等施設の竣工

年 月	施設・設備等の名称、用途等
昭和 61 年 6 月	本部棟竣工（法人本部・事務局、図書館、エクステンションセンターなど） 附属高校体育館竣工（武道場を含む）
昭和 61 年 7 月	附属高校校舎竣工
昭和 63 年 3 月	新宮総合グラウンド竣工（野球場、ラグビー・サッカー場）
平成 3 年 1 月	1 号館（現 C 棟）竣工（情報工学部、学生ホールなど）
平成 5 年 3 月	女子寮（コスモス寮）竣工
平成 11 年 2 月	α 棟竣工（モノづくりセンター、キャリアサポートセンター、自習室、多目的ホールなど）
平成 12 年 10 月	FIT アリーナ竣工（多目的ホール兼体育館、トレーニングセンター）
平成 13 年 2 月	A 棟竣工（工学部、社会環境学部など）
平成 15 年 10 月	新学生寮（坦心寮）竣工
平成 16 年 1 月	B 棟竣工（情報工学部、短期大学部、情報処理センター、研究所、学生サービスセンターなど）
平成 16 年 7 月	D 棟竣工（工学部、情報工学部、工作センターなど）
平成 21 年 1 月	附属高校校舎内外装全面改修・増築（生徒数増加に伴う教室増など）
平成 23 年 3 月	FIT ホール竣工（多目的ホールなど）、運動場用地取得（福岡市塩浜 33,247 m ² ）